

日本フンボルト協会 2019 年度年次総会

2019年6月2日(日)

ドイツ文化会館ホール

時 間	プログラム	会 場
13:20- 14:00	<p>*日本フンボルト協会 2019 年度会員総会</p> <p>1.理事長挨拶 2.活動報告と決算 3.活動方針と予算 4.役員の変更・支部長の交代 5.日独共同研究奨学金について 6.その他</p>	ドイツ文化会館ホール
14:00- 15:00	<p>*講演会 演者： Prof. Dr. Franz Waldenberger (ドイツ日本研究所所長) 題目：「コーポレート・ガバナンスの日独比較」(日本語)</p>	ドイツ文化会館ホール
15:00- 17:30	<p>*ドイツ研究留学説明会 (全体説明会 15:00-15:45)</p> <p>① ドイツ研究留学説明会について 東京医科歯科大学教授 鏑田武志氏 ② フンボルト奨学金の紹介 早稲田大学教授 縣 公一郎氏 ③ 「DAAD 奨学金の紹介」 DAAD 東京事務所長 Dorothea Mahnke 氏 DAAD 担当者 久留島 義信氏</p> <p>(専門別分科会 16:00-17:30) 人文科学、社会科学、理工学、生命科学、医学、DAAD 奨学金</p>	<p>全体説明会： ドイツ文化会館ホールにて</p> <p>専門別分科会： ホール、ゲーテの教室にて</p>
<p>(会員の皆様)</p> <p>講演会后、講演者や会員との懇談会を用意しておりますのでご参加ください。 ⇒ 場所：富山県赤坂会館 3F 会議室</p> <p>またご希望の方は適宜留学説明会にご参加の上、ミニコンサート・レセプションをお待ちください。</p>		
17:30- 18:00	<p>*コンサート</p> <p>W.A.Mozart : クラリネット五重奏曲 イ長調 KV.581 I Allegro II Larghetto III Menuetto IV Allegretto con Variazione</p> <p>Cl. 磯部周平 Vn. 蓬田清重 設楽久美子 Va. 針谷美智子 VC. 清水唯史</p>	ドイツ文化会館ホールにて
18:00-18:30	新理事会 (新理事の皆様、ホールの前方にお集まりください。)	
18:30 ~	<p>レセプション</p> <p>はじめにドイツ大使のご挨拶</p> <p>(レセプションには留学説明会参加者も加わります。 留学の経験談など、若手研究者との交流をお願いします。)</p>	ドイツ文化会館ホールとロビー

主催：日本フンボルト協会

共催：ドイツ学術交流会 (DAAD) 東京

後援：日本アレクサンダー・フォン・フンボルト財団

Name	Vorname	氏名	専門分野	留学先	勤務先	支部名
von Werthern	Hans Carl			1994 Bonn	早稲田大学 政治経済学術院	関東
Mahnke	Dorothea	ドイツ連邦共和国大使 DAAD東京事務所長		2013 Berlin	産業技術総合研究所 ナノ材料研究部門ナノ 界面計測グループ	関東
Tsche	Kwang Jun	Kyung Hee University Law School ドイツ日本研究所 所長		2001 Köln	東京薬科大学	関東
Waldenberger	Franz	針谷 美智子		1991 2007 2008 München	中央大学 法学部	関東
Hariya	Michiko	磯部 周平		2011 Jülich	埼玉大学 大学院理工学研究科	関東
Isobe	Shuhei	清水 唯史		1982 München	立命館大学 衣笠研究機構 特別研究フェロー、 大阪市立大学名誉教授	関西
Shimizu	Tadaashi	設楽 久美子		1997 Ulm	(国研) 産業技術総合研究所 電子光技術研究部 門分子集積デバイス研究グループ 長	関東
Shitara	Kumiko	蓮田 清重		1983 Heidelberg	京都府立医科大学大学院医学研究科研究質管理 センター長/特任教授・名誉教授、 京都中部総合医療センター 総長	関西
Yomogita	Kiyoshige			2003 Regensburg	慶応義塾大学 法科大学院	関東
1 Agata	Koichiro	縣 公一郎	Verwaltungswissenschaft	1980 Gießen	東京大学名誉教授	関東
2 Akaike	Kouki	赤池 幸紀	Festkörperphysik	1993 Mainz	北海道大学 電子科学研究所生体分子デバイス 研究分野	北海道
3 Akanuma	Satoshi	赤沼 哲史	Biochemie	1997 Mannheim	筑波大学 人文社会科学研究所	関東
4 Arai	Makoto	新井 誠	Zivilrecht, Privatrecht	1980 Darmstadt	女子美術大学理事・評議員、北里大学名誉教授	関東
5 Araki	Wakako	荒木 稚子	Maschinenbau	1993 Marburg	中央大学 法科大学院	関東
6 Asada	Kazushige	浅田 和茂	Strafrecht	2016 Düsseldorf	国立国際医療研究センター	関東
7 Azumi	Reiko	阿澄 玲子	Physikal. Chemie	2014 Berlin	東京医科大学 歯学部総合研究科	関東
8 Fushiki	Shinji	伏木 信次	Neuropathologie	1984 Köln	国学院大学 法学部特任教授	関東
9 Haga	Masaaki	芳賀 雅顯	Internationales Prozeßrecht	1990 Würzburg	東都春日部病院 院長	関東
10 Hirowatari	Seigo	広渡 清吾	Deutsches Recht (Rechtsgeschichte)	1999 Berlin	慶應義塾大学 文学部	関東
11 Ijiro	Kuniharu	居城 邦治	Organische Chemie	1999 Hamburg	岩井整形外科・内科病院	関東
12 Itoh	Makoto	伊藤 眞	Neuere deutsche Sprachwissenschaft	1981 Aachen	東京理科大学学長、東京大学名誉教授	関東
13 Kaji	Eisuke	梶 英輔	Organische Chemie	2009 Frankfurt am Main	大阪市立大学 大学院法学研究科	関西
14 Kasai	Osamu	笠井 修	Rechtsvergleichung, Privatrecht	2010 Heidelberg	成城大学 法学部	関西
15 Katsuyama	Hisayuki	勝山 修行	Endokrinologie und Stoffwechsel			
16 Kawano	Yohei	河野 洋平	Immunologie			
17 Kimura	Konosuke	木村 弘之亮	Steuerrecht, Verwaltungsrecht, Öffentliches Recht			
18 Kimura	Wataru	木村 理	Chirurgie, Anästhesiologie			
19 Koda	Yoshiki	香田 芳樹	Germanistik			
20 Koga	Hisashi	古閑 比佐志	Neurochirurgie			
21 Matsumoto	Yoichiro	松本 洋一郎	Strömungsforschung, Techn.Strömungslehre, Aeroelastizität			
22 Moriya	Kenichi	守矢 健一	Europäische Rechtsgeschichte			
23 Nishido	Shoichiro	西土 彰一郎	Staats- und Verfassungsrecht			

Name	Vorname	氏名	専門分野	留学先	勤務先	支部名
24 Okabayashi	Hiroshi	岡林 洋	Ästhetik	1992 München	同志社大学 元人文科学研究所長	関西
25 Sakakoshi	Masaki	坂越 正樹	Geschichte der Pädagogik	1991 Marburg	広島文化学園大学副学長、広島大学名誉教授	中四国
26 Sakata	Ryoichi	坂田 亮一	Fleischforschung, Lebensmittelwissenschaft	1994 Kulmbach	麻布大学 獣医学部動物応用科学科	関東
27 Sakurada	Yoshiaki	櫻田 嘉章	Internationales Recht	1971 Hamburg	甲南大学法科大学院教授、京都大学名誉教授	関西
28 Tadohoro	Satoshi	田所 諭	Angewandte Informatik	1997 Duisburg	東北大学 大学院情報科学研究科	東北
29 Tajiri	Akio	田尻 明男	Theoretische Chemie	1976 München Trier	満願寺	関東
30 Takahashi	Sogo	高橋 宗五	Germanistik, Neuere deutsche Literaturwissenschaft	1993 Karlsruhe	東京大学名誉教授	関東
31 Takahashi	Teruaki	高橋 輝暁	Germanistik, Philologie, Deutsche Philologie	1984 Bonn	立教大学名誉教授	関東
32 Takahashi	Yoshito	高橋 義人	Germanistik, Neuere deutsche Literaturwissenschaft	1986 Köln	平安女学院大学特任教授、京都大学名誉教授	関西
33 Tanaka	Shin	田中 慎	Germanistik /Linguistik	2006 München	慶應義塾大学 文学部	関東
34 Tanemura	Masaki	種村 真幸	Festkörperphysik	1996 Bonn	名古屋工業大学 大学院工学研究科	中部
35 Tamiguchi	Yasuhei	谷口 安平	Zivilverfahrensrecht, Prozeßrecht, Gerichtsverfassungsrecht	1977 Köln	松尾総合法律事務所、京都大学名誉教授	関東
36 Tsubata	Takeshi	鏑田 武志	Immunologie	1988 Köln Freiburg	東京医科歯科大学 難治疾患研究所	関東
37 Uesaka	Naofumi	上阪 直史	Neurowissenschaften	2015 Aachen	東京大学 医学系研究所	関東
38 Wada	Hajime	和田 肇	Arbeitsrecht	1993 Regensburg 1999 Hagen	名古屋大学名誉教授・特任教授	中部
39 Yamagami	Hiroshi	山上 浩志	Theor. Festkörperphysik	1994 Darmstadt	京都産業大学 理学部物理科学科	関西
40 Yokoyama	Yoshihiro	横山 由広	Ältere deutsche Sprachwissenschaft	2006 Trier	慶應義塾大学 理工学部	関東
事務局						
1 Kubota	Takashi	久保田 隆	Strafrecht	2014 Köln	DAAD 元奨学生	関東
2 Kurushima	Yoshinobu	久留島 義信			DAAD 東京事務所 奨学金担当者 日本フロンポルト協会事務局	関東
3 Seki	Eiko	関 映子			関東甲信越支部事務局	関東

1. 2018年度年次総会

・2018年6月2日に6月2日に京都大学本部(吉田キャンパス)で開催した。総会では理事会提出の2017年度活動総括、決算案および2018年度活動方針・予算案を審議し、決定した。総会出席者は58名であった。

・総会において、日独共同研究奨学金設置について諮り、本年度からの募金開始と奨学金実施要綱を決定した。募金実施に係る「日独共同研究奨学金」管理規定及び「財政安定化基金」管理規定は、その後、第1回常務理事会において決定された。

・名誉会員にDr.von Werthern駐日ドイツ大使を推薦し、総会により決議された。称号授与式の後、同大使による「Wozu Botschafter?」と題する講演会が開催された。引き続きミニ・コンサートを催した後、懇親会が、同大使臨席のもと、開催され、75名の参加があった。

・総会報告版として「日本フンボルト協会ニューズレター」(Nr. 2018年8月)を刊行した。

2. 協会運営のための諸会議について

・年次総会に際して、常務理事会および理事会を開催し、会員総会に提出する2017年度活動報告、決算案および2018年度活動方針・予算案が審議され承認された。

・常務理事会を、8月24日(東京・ドイツ文化会館内 DAAD 事務所会議室)、12月22日(京都・同志社大学寒梅館)および2019年3月24日(東京・ドイツ文化会館内 DAAD 事務所会議室)に開催し、活動の具体化について審議した。

3. ドイツ研究留学説明会の開催

総会と同日の6月2日に京都大学・吉田キャンパスで、DAAD 東京所長 Dr.Mahnke 氏の参加を得て、2018年度のドイツ研究留学説明会を開催した。全体説明会ののち、分野ごとの6分科会でより詳細な説明と意見交換が行われた。若手研究者約80名が参加した。

4. 2019年度総会について

2019年6月2日(日)、ドイツ研究留学説明会と併せて、いずれも東京・ドイツ文化会館で開催することになった。

5. 支部活動について

支部長交代も複数あって、今後の支部活動の一層の活発化が期待される。各支部の活動については、協会ホーム・ページならびにニューズレターを参照されたい。

6. 日独共同研究奨学金の件

2018年9月から募金活動を開始し、日独共同研究基金管理規程及び関連内規を整備し、実施委員会(委員長・伊藤副理事長)も設置して応募を募ったところ、11件の応募があった。なお、募金及び実施に生じる様々な問題については理事長・副理事長(廣渡前理事長も参加)によるワーキンググループにおいて検討することとした。なお、制度の実施全般については常務理事会に一任された。

7. 協会の財政について

・協会財政の逼迫に備えて、日独共同研究奨学金のための募金に財政安定化のための募金をも合わせて実施することとし、第1回常務理事会において「財政安定化基金」管理規定も承認されたので、会員からの募金を開始した。

・フンボルト財団から、総会開催の支援金に加えて、2018年度も、ドイツ研究留学説明会開催について支援金を申請し認められた。

(以上)

日本フンボルト協会 2019年度の活動方針（2019年6月2日）

1. 2020年度年次総会

・2020年6月を目処に関西で開催する予定である。

2. ドイツ研究留学説明会は、総会の日程に合わせて、DAAD東京事務所と連携した形での開催を目指す。個別に実施することにも留意する。参加者の増加のために、各大学の担当部署への通知も模索する。

3. 支部長＝常務理事体制の下、引き続き、支部活動の発展を図る。支部における会員ネットワークの確立、大学別連絡責任者の体制の整備、支部総会の開催など、支部活動を着実に進める体制を作る。支部におけるDAAD友の会との協力と交流を進める。

4. 賛助会員制度の活用とともに、新会員の発掘を図り、日独の学术交流の基盤を拡大・強化する。支部活動への賛助会員の参加を図る。

6. 健全な協会財政を確立するために、協会独自の努力を積み重ねるとともに、会員の一層の協力をお願いする。具体的には、年会費の納入率が依然として低い状況であるため、納入率アップのための施策を検討すると同時に、各賞受賞者には賛助会員として、本協会への参加をお願いする。また、寄付金のなかから、財政安定化基金への一定の配分が予定されている。

7. 日独共同研究奨学金制度

・2018年10月から開始した日独共同研究奨学金制度募金は、今年度の9月末までであるが、目標額に達しない場合には、もう1年延長して、当初予定の奨学金給付期間を維持する予定である。

・上記募金は、会員については、同時に財政安定化にも資するものとして協力をお願いしている。今のところ、会員については、約200名程度の協力が得られているが、なお、一層の寄付を得られるように努力したい。

・2018年度に創設した日独共同研究奨学金制度は、応募が11件有り、選考委員会の審査により、2名の受賞者が決定される予定であるが、2019年度も募集をする予定である。

以上

理事、評議員、監事、顧問 候補者リスト 2019年度総会より2021年総会まで

	氏名	Name	Vorname	ご所属	支部名	支部別
《理事》	浅田 和茂	Asada	Kazushige	立命館大学 衣笠研究機構特別研究フェロー、 大阪市立大学名誉教授	関西	1
	伏木 信次	Fushiki	Shinji	京都府立医科大学 研究質管理センター長/特任教授・ 名誉教授、京都中部総合医療センター総長	関西	2
	金 尚均	Kim	Sangyun	龍谷大学 法学部	関西	3
	守矢 健一	Moriya	Kenichi	大阪市立大学 大学院法学研究科	関西	4
	西川 伸一	Nishikawa	Shin-Ichi	NPO法人オール・フアット・サイエンス・ジャパン、JT生命誌研究館、 京都大学名誉教授	関西	5
	小川 暁夫	Ogawa	Akio	関西学院大学 文学部	関西	6
	岡林 洋	Okabayashi	Hiroshi	同志社大学 元人文科学研究所長	関西	7
	小澤 守	Ozawa	Mamoru	関西大学 社会安全学部	関西	8
	櫻田 嘉章	Sakurada	Yoshiaki	甲南大学法科大学院、京都大学名誉教授	関西	9
	澤 芳樹	Sawa	Yoshiki	大阪大学 医学系研究科	関西	10
	高田 篤	Takada	Atsushi	大阪大学 大学院法学研究科	関西	11
	高橋 義人	Takahashi	Yoshito	平安女学院大学特任教授、京都大学名誉教授	関西	12
	高山 佳奈子	Takayama	Kanako	京都大学 大学院法学研究科	関西	13
	田邊 玲子	Tanabe	Reiko	京都大学 人間環境学研究科	関西	14
	床谷 文雄	Tokotani	Fumio	奈良大学 文学部文化財学科、大阪大学名誉教授	関西	15
	山上 浩志(新)	Yamagami	Hiroshi	京都産業大学 理学部物理科学科	関西	16
	山本 敬三	Yamamoto	Keizo	京都大学 大学院法学研究科	関西	17
縣 公一郎	Agata	Koichiro	早稲田大学 政治経済学術院	関東甲信越	1	
荒木 稚子(新)	Araki	Wakako	埼玉大学 大学院理工学研究科	関東甲信越	2	
阿澄 玲子	Azumi	Reiko	(国研)産業技術総合研究所 電子光技術研究部門	関東甲信越	3	
林 香里(新)	Hayashi	Kaori	東京大学 大学院情報学環	関東甲信越	4	
広渡 清吾	Hirawatari	Seigo	東京大学名誉教授	関東甲信越	5	
星野 宏美	Hoshino	Hiromi	立教大学 異文化コミュニケーション学部	関東甲信越	6	
井田 良	Ida	Makoto	中央大学大学院法務研究科教授、慶應義塾大学名誉教授	関東甲信越	7	
伊藤 眞	Itoh	Makoto	筑波大学 人文社会科学系	関東甲信越	8	
梶 英輔	Kaji	Eisuke	女子美術大学理事・評議員、北里大学名誉教授	関東甲信越	9	
笠井 修	Kasai	Osamu	中央大学 法科大学院	関東甲信越	10	
香田 芳樹	Koda	Yoshiki	慶應義塾大学 文学部	関東甲信越	11	
松本 洋一郎	Matsumoto	Yoichiro	東京理科大学学長、東京大学名誉教授	関東甲信越	12	
西土 彰一郎	Nishido	Shoichiro	成城大学 法学部	関東甲信越	13	
高橋 宗五	Takahashi	Sogo	東京大学名誉教授	関東甲信越	14	
高橋 輝暁	Takahashi	Teruaki	立教大学名誉教授	関東甲信越	15	
鏑田 武志	Tsubata	Takeshi	東京医科歯科大学 難治疾患研究所	関東甲信越	16	
渡辺 紀徳	Watanabe	Toshinori	東京大学 大学院工学系研究科	関東甲信越	17	
河野 俊行	Kono	Toshiyuki	九州大学 大学院法学研究院	九州	1	
武内 謙治	Takeuchi	Kenji	九州大学 大学院法学研究院	九州	2	
小坂 光一	Kosaka	Koichi	名古屋大学名誉教授	中部	1	
宮崎 保光	Miyazaki	Yasumitsu	愛知工科大学名誉教授	中部	2	
種村 眞幸	Tanemura	Masaki	名古屋工業大学 物理工学専攻	中部	3	
和田 肇	Wada	Hajime	名古屋大学名誉教授・特任教授	中部	4	
長谷川 隆文(新)	Hasegawa	Takafumi	東北大学 大学院医学系研究科	東北	1	
須田 利美	Suda	Toshimi	東北大学 電子光学学研究センター	東北	2	
田所 諭	Tadokoro	Satoshi	東北大学 大学院情報科学研究科	東北	3	
山内 英生	Yamauchi	Hidemi	(独)国立病院機構仙台医療センター名誉院長	東北	4	
大下 浄治(新)	Ohshita	Joji	広島大学 大学院工学研究院	中四国	1	
坂越 正樹	Sakakoshi	Masaki	広島文化学園大学副学長、広島大学名誉教授	中四国	2	
宇高 恵子	Udaka	Keiko	高知大学 医学部	中四国	3	
居城 邦治	Ijiro	Kuniharu	北海道大学 電子科学研究所	北海道	1	

理事、評議員、監事、顧問 候補者リスト 2019度総会より2021年総会まで

	氏名	Name	Vorname	ご所属	支部名	支部別
	田口 正樹	Taguchi	Masaki	北海道大学 大学院法学研究科	北海道	2
	山田 貞三	Yamada	Teizo	北海道大学 名誉教授	北海道	3

《評議員》	氏名	Name	Vorname	ご所属	支部名	支部別
	平田 健治	Hirata	Kenji	大阪大学名誉教授	関西	1
	細野 眞(新)	Hosono	Makoto	近畿大学 医学部放射線医学教室	関西	2
	三木 順子	Miki	Junko	京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科	関西	3
	宮田 興子	Miyata	Okiko	神戸薬科大学 薬品化学研究室	関西	4
	高田 敏	Takada	Bin	大阪大学名誉教授、大阪国際大学名誉教授	関西	5
	高橋 英治	Takahashi	Eiji	大阪市立大学 大学院法学研究科	関西	6
	内山 勝利	Uchiyama	Katsutoshi	京都大学名誉教授	関西	7
	梅川 尚嗣	Umekawa	Hisashi	関西大学 工学部	関西	8
	市場 みすず	Ichiba	Misuzu	日本女性薬剤師会理事	関東甲信越	1
	小林 尚登	Kobayashi	Hisato	法政大学 デザイン工学部	関東甲信越	2
	宮川 新平	Miyakawa	Shimpei	(一社) 日本フルードパワー工業会	関東甲信越	3
	仲道 祐樹(新)	Nakamichi	Yuki	早稲田大学 社会科学総合学術院	関東甲信越	4
	榊原 哲也(新)	Sakakibara	Tetsuya	東京大学 大学院人文社会系研究科	関東甲信越	5
	小田 哲治	Oda	Tetsuji	東京大学 名誉教授	関東甲信越	6
	大崎 博之	Ohsaki	Hiroyuki	東京大学 大学院新領域創成科学研究科	関東甲信越	7
	坂井 建雄	Sakai	Tatsuo	順天堂大学 保健医療学部	関東甲信越	8
	澤田 誠二	Sawada	Seiji	(社) 団地再生支援協会・最高顧問、 明治大学 (元) 教授	関東甲信越	9
	仙名 保	Senna	Mamoru	名古屋工業大学 先進セラミックス科学研究所、 慶應義塾大学名誉教授	関東甲信越	10
	祖父江 義明	Sofue	Yoshiaki	東京大学名誉教授	関東甲信越	11
	都築 正和	Tsuzuki	Masakazu	東京大学名誉教授	関東甲信越	12
	西村 重雄	Nishimura	Shigeo	九州大学名誉教授	九州	1
	嶋田 洋一郎	Shimada	Yoichiro	九州大学 大学院比較社会文化研究院	九州	2
	石田 秀治	Ishida	Hideharu	岐阜大学 応用生物科学部	中部	1
	中村 英樹	Nakamura	Hideki	名古屋大学 大学院環境学研究所	中部	2
	稲葉 馨	Inaba	Kaoru	東北大学名誉教授	東北	1
	日置 善郎	Hioki	Zenro	徳島大学名誉教授	中四国	1
	田代 聡	Tashiro	Satoshi	広島大学 原爆放射線医学研究所	中四国	2
	寺田 龍男	Terada	Tatsuo	北海道大学 大学院メディア・コミュニケーション研究院	北海道	1

《監事》	氏名	Name	Vorname	ご所属	支部名	支部別
	神林 恒道	Kambayashi	Tsunemichi	大阪大学名誉教授	関西	1
	吉川 泰弘	Yoshikawa	Yasuhiro	岡山理科大学 獣医学部	中四国	1

《顧問》	氏名	Name	Vorname	ご所属	支部名	支部別
	西原 春夫	Nishihara	Haruo	アジア平和貢献センター、早稲田大学名誉教授 (元) 早稲田大学総長	関東甲信越	1
	佐々木 毅	Sasaki	Takeshi	(公財) 日本生産性本部、(公財) 明るい選挙推進協会会長、 (公社) 国土緑化推進機構理事長、東京大学名誉教授 (元： 東京大学総長)	関東甲信越	2
	奥田 昌道(新)	Okuda	Masamichi	京都大学名誉教授、(元) 最高裁判所判事	関西	1

役員（顧問を除く）再任に関する理事会申し合わせ（案）

（2019年6月2日 常務理事会・理事会にて提案）

役員改選に関して、75歳以上の者は、再任を希望しないものとする。

第1回日独共同研究奨学金助成研究（2019年度）

1.

研究標題

冠詞のない言語は冠詞なしでどのように対象を示しているのか？名詞および文の指示機能についての独中日対照研究

„Wie kommen artikellose Sprachen ohne Artikel aus? Nominale und sententielle Referenz im deutsch-chinesisch-japanischen Vergleich“

助成対象者氏名、資格、所属機関、及び研究分野

Meng-Cheng Lee, Dr.phil., Lektor, LMU München,
Germanistische Linguistik

申請者氏名、資格、所属機関、及び研究分野

田中 慎、教授、慶応義塾大学、ドイツ語学

2.

研究標題

確率的均質化問題に対する Unfolding 法とその破壊工学への応用

Stochastic unfolding method and applications to Damage Mechanics

助成対象者氏名、資格、所属機関、及び研究分野

Mario Varga, MSc in Mathematics, PhD student/Research Fellow,
Technical University of Dresden, Applied Analysis

申請者氏名、資格、所属機関、及び研究分野

赤木 剛朗、教授、東北大学大学院理学研究科数学専攻、応用解析学（数学）

以上2件

日独共同研究奨学金実施要綱

Leitlinie zum Japanisch-Deutschen Stipendium zur gemeinsamen Forschung

1. (名称)

本奨学金は、日独共同研究奨学金と称する。ドイツ名は、Japanisch-Deutsches Stipendium zur gemeinsamen Forschung とする。

2. (目的)

本奨学金の目的は、学術分野を問わず、ドイツ所在の研究・教育機関に属する若手研究者による日本での共同研究を助成することにある。この助成は、これを契機として、助成対象者が、さらに AvH や JSPS 等の奨学金を獲得し、自らの研究を一層発展させることを期待するものである。

3. (申請資格と助成対象)

(1) 本奨学金への申請資格者は、日本フンボルト協会 (HGJ) 会員である。ドイツに所在する研究・教育機関に属し、継続して3年以上ドイツで研究活動を行っている若手研究者との共同研究を希望する会員は、本奨学金の申請を行うことができる。助成対象の若手研究者は、奨学金支給時に、Master ないしそれ以上の学位取得 10 年以内であることを要件とする。

(2) 本奨学金において、助成対象者として一度採用された者は、再度助成を受けることができない。申請者は、同一年度に複数の申請を行うことができない。

4. (申請方法)

申請資格者は、所定の申請書類に必要事項を記入の上、毎年 3 月 31 日までに、HGJ (事務局) に奨学金申請書を提出する。

5. (選考方法と決定)

(1) HGJ 理事長は、常務理事 1 名を選考委員長として、学術分野に応じて、若干名の理事等から構成される選考委員会を設置し、同選考委員会が、毎年一度助成対象者の選考を行う。

(2) 常務理事会は選考委員会の推薦に基づいて、奨学金を支給する助成対象者を決定する。

6. (助成の内容)

助成対象 1 件につき、50 万円を支給し、一年間に 2 件までを助成対象とする。奨学金の用途は、当該共同研究の枠内で費消する限り、特定されない。奨学金の費消は、支給の日から一年以内とする。

7. (申請書類)

申請書類は、以下の内容を伴うものとする。申請書に使用する言語は、原則、日本語とする。

- a. HGJ 会員申請者情報、及びドイツ側助成対象者情報
- b. 研究標題、及び研究目的・手法・内容

- c. 日独共同研究必要性、特色、及び期待される成果
- d. 共同研究の実施計画
- e. 奨学金の経費計画
- f. 助成対象者の関連主要研究業績

8. (審査基準)

選考委員会規定（内規）にて定める。

9. (審査結果の公表)

審査結果は、常務理事会で決定した後、理事会及び会員総会に報告し、申請者に通知する。
助成対象者には、日本で行う奨学金授与式においてHGJ理事長から助成証書及び奨学金が手交される。

10. (研究実施報告)

共同研究実施後、申請者であったHGJ会員は、A4判一枚程度の研究実施報告書をHGJ理事長あてに提出する。

2020年度日程

2019年10月	公募開始
2020年3月31日	申請書類締切
2020年5月末	選考
2020年6月	助成対象者公表
2020年9月－2021年8月	助成対象期間
2021年10月末	研究報告書提出

日独共同研究奨学金申請書類
Antragsformular zum Forschungsstipendium

a1. 申請者氏名、資格、所属機関、及び研究分野

Name, Position, Organisation und Fach des/r Antragsteller/in

a2. 助成対象者氏名、学歴、資格、所属機関、及び研究分野

Name, Titel, Position, Organisation und Fach der zu fördernden Person(en)

b1. 研究標題 Forschungsthema

b2. 研究目的、方法、及び内容 Zweck, Methode und Inhalt der Forschung

上記 3 点を含めて自由にお書き下さい。

c. 日独共同研究の必要性、特色、及び期待される成果

Notwendigkeit, Besonderheit und zu erwartendes Ergebnis der Japanisch-
Deutschen gemeinsamen Forschung

上記 3 点を含めて自由にお書き下さい。

d. 共同研究の実施計画 Durchführungsplanung der gemeinsamen Forschung

e. 経費計画 Kostenplanung

f. 助成対象者の関連主要研究業績 Hauptwerke der zu fördernden Person(en)

全 2 頁以内で記して下さい。

Innerhalb von zwei Seiten einzutragen

日本フンボルト協会「日独共同研究奨学金基金」管理規程

1. 本基金は、日独共同研究奨学金実施要綱（2018年6月2日総会承認）に基づいて実施する事業における奨学金の給付を目的とする。
2. 本基金は、独自の単一の預金口座で管理する。
3. 本基金の管理は、理事長の指名する副理事長が行う。
4. 本基金からの奨学金は、日本で行われる奨学金授与式において、助成対象者に手交される。
5. 本基金の運用は、元本を減殺することなく、かつ、できるだけ有利な方法で行わなければならない。
6. 本基金を管理する副理事長は、毎年度、会員総会において基金の会計報告を行わなければならない。会員総会への報告は、理事会の承認および会計監事の監査を経なければならない。

日本フンボルト協会「財政安定化基金」管理規程

1. 本基金は、通常会計の安定化を図るため、不時の支出にそなえ、かつ、通常会計によってまかなえない事業の費用にあてることを目的とする。
2. 本基金は、独自の単一の預金口座で管理する。
3. 本基金の管理は、理事長の指名する財務担当常務理事が行う。
4. 本基金からの支出は、本基金を管理する財務担当常務理事の提案に基づき、常務理事会の審議・決定を経て行う。
5. 本基金の運用は、元本を減殺することなく、かつ、できるだけ有利な方法で行わなければならない。
6. 本基金を管理する財務担当常務理事は、毎年度、会員総会において基金の会計報告を行わなければならない。会員総会への報告は、理事会の承認および会計監事の監査を経なければならない。

日独共同研究奨学金基金及び協会財政安定化基金への寄付状況

2019年6月2日

《現在の寄付金現状》(6月2日現在)		
寄付金額	会員200名からの寄付.	7,115,703円
	外部の個人・企業からの寄付	1,840,000円
	合計金額	8,955,703円

《合計金額8,955,703円の基金への振り分け予定》 2019年6月2日以降			
内 訳	奨学金基金	財政安定化基金	合 計
会員200名からの寄付	5,929,753円 (6分の5)	1,185,950円 (6分の1)	7,115,703円
外部の個人・企業からの寄付	1,840,000円		1,840,000円
《基金目標額》			
	奨学金基金	財政安定化基金	合 計
基金目標額	10,000,000円	2,000,000円	12,000,000円

備考：奨学金基金と財政安定化基金の配分比率については、寄付募集期間が終了した段階で、常務理事会において寄付金総額などさまざまな角度から改めて検討し、最終的な配分比率を決定する。

日本フンボルト協会

2018年度 (2018年4月1日～2019年3月31日) 決算案

2019.03.31 現在

(収入の部)				
項 目	2018年度予算	2018年度決算	決算一予算	明 明
1 年会費	2,800,000	2,560,000	▲ 240,000	2019年度前倒し納入4名、2018年度634名、2017年度事後納入2名
2 利息	20	22	2	普通預金利子 (2017年度実績に基づく予想利子)
3 寄付	0	500	500	年会費として納入されたが、大幅に不足なので寄附金扱い
4 フンボルト財団支援金	266,500	432,717	166,217	総会懇親会および留学説明会支援金
5 総会懇親会参加費	180,000	167,000	▲ 13,000	2018年度予算から新規計上
6 収入小計	3,246,520	3,160,239	▲ 86,281	
7 前年度繰越金	2,227,193	2,227,193	0	
8 2018年度 収入計	5,473,713	5,387,432	▲ 86,281	
(支出の部)				
項 目	2018年度予算	2018年度決算	決算一予算	明 明
9 総会・説明会等開催費	450,000	441,334	▲ 8,666	講演・コンサート等、総会当日の所要経費、若手説明会経費、懇親会経費
10 支部運営助成費	900,000	900,000	0	関東甲信越支部及び関西支部200,000円、他の支部100,000円
11 会合費	35,000	40,538	5,538	常務理事会・理事会開催のための費用
12 通信費	350,000	344,313	▲ 5,687	会費請求・ニュースの送付等会員への発送
13 印刷・複写費	170,000	165,097	▲ 4,903	
14 事務所施設利用費	50,000	46,900	▲ 3,100	事務所清掃代、電気代、プリンター保守費分担金、電話使用料 (DAAD友の会と折半)
15 事務用品費	90,000	100,931	10,931	PC購入代金を含む (DAADと折半)
16 事務局人件費	1,300,000	1,408,730	108,730	事務局員への謝金、発送の手伝い要員の費用、交通費
17 振込手数料等	5,000	6,228	1,228	銀行振込手数料、振込用紙印字手数料等
18 予備費	100,000	78,058	▲ 21,942	39,062円 (Aufderheid氏とHesse氏の接待費)+38,996円 (日独共同奨学金用印刷費+事務用品費)
19 支出小計	3,450,000	3,532,129	82,129	
20 次年度繰越	2,023,713	1,855,303	▲ 168,410	決算上の赤字額の371,890円 (収入小計-支出小計) を繰越金で補填するので、同額の繰越金が減少。
21 2018年度 支出計	5,473,713	5,387,432	▲ 86,281	

(備考)

- 懇親会については、2018年度から収支ともに一般会計に計上する。懇親会参加費は収入科目に記載し、支出は総会・説明会等の科目に計上する。
- 2011年度アルムニ賞賞金25,000ユーロ=2,764,326円 (利子を含む) は、ホームページと留学支援サイトの構築のためにあてられた。
現在、残額が345,645円である。フンボルト財団の了承を得て、残額は、「ホームページ管理特別基金」の下におき、ホームページの維持管理のために使用する。
- 会費納入会員数の推移 (2013) 785 / (2014) 730 / (2015) 797 / (2016) 698 / (2017) 635 / (2018) 634 / (2019) 4
- 日独共同奨学金についてのHP掲載費用 14,040円は、ホームページ管理特別基金から支出した。

日本フンボルト協会

2019年度 (2019年4月1日～2020年3月31日) 予算案

2019.06.02

(収入の部)				
項 目	2018年度決算	2019年度予算	19予算-18決算	説 明
1 年会費	2,560,000	2,520,000	▲ 40,000	4000円×630名 (2018年度会費納入会員数の実績に準じる)
2 利息	22	20	▲ 2	普通預金利子 (2018年度実績に基づく予想利子)
3 寄付	500	0	▲ 500	
4 フンボルト財団支援金	432,717	410,000	▲ 22,717	総会懇親会支援 (¥50,000)および留学説明会参加者 (€25.00×¥120×120名=¥360,000)
5 総会懇親会参加費	167,000	100,000	▲ 67,000	¥5,000×20名=¥100,000
6 収入小計	3,160,239	3,030,020	▲ 130,219	
7 前年度繰越金	2,227,193	1,855,303	▲ 371,890	2017年度決算における208,553円の赤字を繰越金で補填したので2018年度への繰越金が減少
8 2018年度 収入計	5,387,432	4,885,323	▲ 502,109	
(支出の部)				
	2018年度決算	2019年度予算	19予算-18決算	説 明
9 総会・説明会等開催費	441,334	440,000	▲ 1,334	¥320,000 { (=¥4,000×800名) (飲食費)+120,000 (その他経費) } =¥440,000
10 支部運営助成費	900,000	900,000	0	関東及び関西支部 200,000円、他の支部 100,000円
11 会合費	40,538	40,000	▲ 538	常務理事会・理事会開催のための費用
12 通信費	344,313	300,000	▲ 44,313	会費請求・ニュースの送付等会員への発送
13 印刷・複写費	165,097	180,000	14,903	
14 事務所施設利用費	46,900	55,000	8,100	事務所清掃代、電気代、プリンター保守費分担金、電話使用料 (DAAD友の会と折半)
15 事務用品費	100,931	50,000	▲ 50,931	
16 事務局人件費	1,408,730	1,300,000	▲ 108,730	事務局員への謝金、発送の手伝い、要員の費用、交通費
17 振込手数料等	6,228	5,000	▲ 1,228	銀行振込手数料、振込用紙印字手数料等
18 予備費	78,058	100,000	21,942	予算を超過した支出を補填
19 支出小計	3,532,129	3,370,000	▲ 162,129	
20 次年度繰越	1,855,303	1,515,323	▲ 339,980	予算上の赤字額の339,980円 (収入小計-支出小計) を繰越金で補填するので、同額の繰越金が減少。
21 2018年度 支出計	5,387,432	4,885,323	▲ 502,109	

(備考)

- ① 懇親会については、2018年度から収支とともに一般会計に計上する。懇親会参加費は収入科目に記載し、支出は総会・説明会等の科目に計上する。
- ② 2011年度アルムニ賞賞金25,000ユーロ = 2,764,326円 (利子を含む) は、ホームページと留学支援サイトの構築のためにあてられた。
現在、残額が345,645円である。フンボルト財団の了承を得て、残額は、「ホームページ管理特別基金」の下におき、ホームページの維持管理のために使用する。
- ③ 会費納入会員数の推移 (2013) 785 / (2014) 730 / (2015) 797 / (2016) 698 / (2017) 635 / (2018) 632 / (2019) 4

2018年度監査報告書

日本フンボルト協会

理事長 櫻田嘉章 殿

私は、日本フンボルト協会の監事として会則の定めるところに基づき、
本会の2018年4月1日より2019年3月31日に至る期間の会務
の執行および会計収支の状況につき監査を行いました。

監査の結果、上記の期間において会務が適切に執行されており、また関係
するすべての書類が収支と財産の状況を適正に示していることを確認
いたしました。

以上、ご報告いたします。

2019年 5月 7日

監事 神林 恒道



監事 吉川 泰弘



令和元年5月22日

日本フンボルト協会
理事長 櫻田嘉章 殿

北海道支部長 居城邦治



平成30年度日本フンボルト協会北海道支部 活動報告

平成29年度の支部総会決議に基づき、以下の通り、支部としての活動を行った。

記

- 1) 平成31年3月20日、北海道大学学生交流ステーション大会議室において、「北海道ドイツ留学説明会」を開催した。案内パンフレット等を通じて、学部生、大学院生に呼びかけ、参加者にフンボルト財団だけでなく、ドイツ学術交流会の奨学金制度についても、パワーポイントによる説明を行った。年度末の授業が終了した時期ではあったが、学部生、院生など、合わせて10名が参加し、熱心に聞き入っていた。
- 2) 第四回北海道支部総会を開催した（同日）。令和元年度の支部活動方針について協議し、下記の通り承認された。
 1. 支部総会・懇親会の開催
 2. 北海道地区の学生および若手研究者へのドイツ留学説明会の開催
 3. 北海道に在住するドイツ研究者との交流会の開催
- 3) 日本フンボルト協会北海道支部総会交流会を開催した（同日）。

平成 31 年 3 月 29 日

日本フンボルト協会
理事長 櫻田嘉章 様

日本フンボルト協会北海道支部長 居城邦治



日本フンボルト協会北海道支部活動助成金
平成 30 年度決算書

【収入】

日本フンボルト協会支部助成金（平成 30 年度）： 100,000 円
前年度繰越金： 75,137 円

計 175,137 円

【支出】

- ①日本フンボルト協会 2018 年度年次総会への旅費支援
（田口正樹理事（平成 30 年 6 月））： 52,700 円
- ②日本フンボルト協会第 1 回常務理事会への旅費支援
（居城邦治支部長（平成 30 年 8 月））： 48,280 円
- ③ドイツ留学説明会（平成 31 年 3 月 20 日、北海道大学学生交流センター）
ポスター印刷費： 8,575 円
- ④日本フンボルト協会北海道支部総会交流会補助
（平成 31 年 3 月 20 日）： 8,376 円
- ⑤日本フンボルト協会第 1 回常務理事会への旅費支援
（居城邦治支部長（平成 31 年 3 月））： 52,420 円

計 170,351 円

次年度繰越金： 4,786 円

2018年度・日本フンボルト協会東北支部活動報告

日本フンボルト協会東北支部長



木村 理 (元山形大学医学部教授)

2018年度の事業として以下の通り総会を開催いたしましたので、ご報告いたします。
なお、2019年度の事業予定は未定です。

2018年度東北支部総会

1. 開催日時

2018年7月1日(日曜日) 13:30~17:00 (懇親会を含む)

2. 開催場所

東北大学片平キャンパス さくらホール

(仙台市青葉区片平2丁目1-1・地下鉄東西線一番町駅から徒歩9分)

3. プログラム

支部総会 (13:30~14:15)

(1) 支部長挨拶

木村 理 (山形大学医学部教授)

(2) 支部の活動について

☆会計収支説明

☆本年度の活動予定

☆ウェブページ開設について

<http://avh-jp-tohoku.sakura.ne.jp/wp/>

☆役員改選の件

☆総会連絡手段の件

記念講演 (14:15~15:00)

演題:「フンボルトと私」

木村 理 支部長 (山形大学)

懇親会 (15:10~17:00)

場所: さくらホール・1階ラウンジ

参加者は16名でした。

以上ご報告いたします。

日本フンボルト協会
理事長 櫻田嘉章 様

2019年4月18日
日本フンボルト協会東北支部支部長
木村 理



平成30年度の日本フンボルト協会東北支部助成金の決算報告書を提出いたします。

記

日本フンボルト協会東北支部助成金決算報告書

【収入】 総計 199,384 円

項目	金額 (円)	備考
前年度繰越	59,384	
運営助成金	100,000	フンボルト財団より
懇親会	40,000	2,500 円 x16 名

【支出】 総計 88,944 円

項目	金額 (円)	備考
案内状発送・交通費	20,488	
会場費	18,340	東北大さくらホール
東北支部ホームページ維持	6,171	
懇親会開催費	43,945	

【繰越し額】

残額 $199,384 - 88,944 = 110,440$

この金額を次年度に繰り越して使用させていただきます。

以上

日本フンボルト協会
理事長 櫻田嘉章 様

日本フンボルト協会関東甲信越支部、2018年度活動報告と助成金の清算を以下にご報告いたします。

2019年4月5日

日本フンボルト協会

関東甲信越支部 支部長 伊藤 眞



《2018年度の事業報告と2019年度の事業予定》

(現在の会員数 652名)

2018年度の 事業報告	6月23日(土) 幹事会	総会の日程決め、活動計画、
	7月28日(土) 幹事会	留学説明会開催のための話し合い
	8月24日(金) 支部長会議	伊藤支部長がドイツ文化会館2F 常務理事・支部長会議に参加
	10月20日(土) 留学説明会当日	関東甲信越支部主催ドイツ留学説明会(上智大学にて)
	12月22日(土) 支部長会議	伊藤支部長が同志社大学で開催の常務理事・支部長会議に参加
	2019年1月19日(土) 幹事会	総会開催の準備
	2月12日(火) 発送と発信	総会の案内状をメール発信と郵送する。
	3月30日(土) 総会当日	2018年度 総会開催 場所: 富山県赤坂会館3F 会議室 参加者 32名 事務協議 ① 支部長ご挨拶 ② 事業報告 ③ 事業計画 ④ 会計・監査報告(2017, 2018年度) ⑤ 改選について(決定事項) (幹事) 阿澄礼子、伊藤眞、井田良、西土彰一郎 星野宏美、高橋輝暁、香田芳樹(新) 高橋宗五(新) (監事) 松本洋一郎 (顧問) 梶 英輔 ⑥ 関東甲信越支部枠からの理事について 4月22日に拡大理事会を開催することに決定 講演会 12:00~13:00 三島憲一 会員 「フンボルト・フォーラムをめぐって —— 血塗られた歴史への問い?」 (YouTube に掲載予定) 懇親会 13:10~15:00 DAAD 東京事務所に場所を移動して

2019年度事業 計画	大学別連絡網の整備
	2019年度の総会開催計画
	関東甲信越支部 HP の作成

《2018年度助成金清算報告》

(2018.04.01~2019.03.31)

収入		支出	
前年度繰越金	150,631	会合費	7,777
助成金(日本フンボルト協会より)	200,000	通信費	10,970
2018年度懇親会参加費 (21人分)	42,000	事務費	10,313
利息	1	2018年度総会開催費	40,200
寄付	0	2018年度懇親会開催費	36,917
		留学説明会開催費	124,139
		謝金	79,800
		交通費	3,260
		支部長会出張交通費	27,820
		繰越金	51,436
合計	392,632	合計	392,632

繰越金 51,436 円を 2019 年度支部活動のために使用させていただきます。

以上

日本フンボルト協会
理事長 櫻田嘉章 様

令和 元年 5月17日
日本フンボルト協会中部支部長 和田 肇

2018年度中部支部活動報告と2019年度の活動予定

2018年度支部総会、懇話会、懇親会

2018年度支部総会、懇話会、懇親会を行なった。

期 日:2018年10月20日(土)

会 場:KKR ホテル名古屋

出席者:10名

(1) 総 会(11.00~11.30)

1. 支部長挨拶
2. 活動報告、会計報告
3. 各種報告
4. その他

(2) 懇話会(11.30~12.30)

原 正則 氏(豊田工業大学)の話題提供により、約1時間行なった。

(3) 懇親会:(12.30~14.30)

懇話会の後、懇親会を行なった。

2019年度活動および活動予定

(a) 2019年度支部幹事会

2019年度支部幹事会を行なった。

期 日:2019年5月10日(金)

議題:1)中部支部総会、懇話会、懇親会の日程と話題提供者について

2)中部支部での留学説明会の開催について

3)6月2日、フンボルト総会での留学説明会の広報について

4)その他

(b) 2019年度支部総会、懇話会、懇親会

期 日:6月末~7月上旬で開催予定

会 場:KKR ホテル名古屋を予定

話題提供:井上 諭 氏(名古屋大学:宇宙地球環境研究所)を予定

(c) 中部支部での留学説明会

大学とも連携して開催できるよう計画中

日本フンボルト協会
理事長 櫻田嘉章 様

令和 元年 5月17日

2018年度 助成金清算書 (中部支部:2018年4月～2019年3月)

日本フンボルト協会中部支部長 和田 肇



2018年度 本部助成金 100,000円

2018年度支出

往復ハガキ(210枚) 26,040円

支部長・理事等旅費 82,920円

支出合計 108,960円

* 不足分は、懇親会費用と【中部日本フンボルト・クラブ】時代から引き継いでいる残金でカバーした

(1) 2018年度日本フンボルト協会会員総会 (開催協力)

日時：2018年6月2日 (土)

場所：京都大学吉田キャンパス百周年時計台記念館 1階 百周年記念ホール

12:40～13:20 常務理事会及び理事会

13:20～14:00 総会議事

14:00～大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館Friedrich Rahn副総領事ご挨拶

・講演会 演者：ハンス・カール・フォン・ヴェアテルン ドイツ大使

題目：「Wozu Botschafter?」「大使とは何か～グローバル社会における大使の役割」

・ドイツ研究留学説明会

17:00～ミニコンサート

18:00～レセプション

場所：レストラン『ラ・トゥール』

(2) 日本フンボルト協会関西支部常務理事会

日時：2018年11月18日 (日) 18:30～

場所：レストラン「フレスコ」

<議事> 1.2019年の関西支部総会の場所と日時

2.2020年の関西支部総会の内容

3.フンボルト協会常務理事会の報告 (留学生基金募金活動、来年の総会)

4.日本フンボルト協会新理事候補について

※2018年度ジーボルト賞を受賞された高山佳奈子常務理事のお祝いを兼ねた。

(3) 第6回日本フンボルト協会関西支部総会・コロキウム・懇親会

日時：2019年2月24日 (日)

場所：京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス 60周年記念館 2階

14:00～ 常務理事・理事・評議員会

15:00～15:30 総会

15:30～18:00 学術企画：コロキウム

タイトル：「踊る身体デザイン—ダンス研究からみるポスト・バウハウスの100年」

ゲスト：中島 那奈子氏 ダンス研究者、ダンス・ドラマトゥルク

(現在はベルリン自由大学国際研究センター、インターウィービングパフォーマンスカルチャーズ・フェローとしてベルリンと、愛知大学(メディア芸術専攻)、尚美学園大学(舞踊学科)でもダンスの教鞭をとる。

著書に『The Aging Body in Dance』(Routledge, 2017)など。)

趣旨：2019年は、ドイツのヴァイマルに、デザイナーや建築家を育成する造形教育機関バウハウスが創設されて100年目にあたります。バウハウスで目指されていたのは、たんなる形の創案や機能の実現だけではありません。そこでのさまざまな活動の根底に流れていたのは、来たるべき新しい時代にふさわしい「人間性」の希求でした。例えば、バウハウスの舞台工房を率いるマイスターのオスカー・シュレマーは、斬新なダンス作品をとおして、人間の身体の新たな位相を開こうとしていました。本企画では、ゲスト・スピーカーの中島那奈子氏とともに、ダンス研究の視点から、バウハウス以降の100年をとおして人間は人間自身の身体をいかにデザインしてきたのかを尋ねます。

18:30～20:30 懇親会 トラットリア ピノ Trattoria Pino

場所：京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス 60周年記念館 2階

会員20名、関係者8名、計28名参加。コロキウムにはそれ以外に聴講者約15名の参加があった。

総会では下記の議事について話し合われた。

<議事>

1. 西川伸一関西支部長ご挨拶
1. 関西支部役員改選（任期2年）に関する件
1. 2017年度会計報告及び2018年度活動報告に関する件
1. 2019年度関西支部活動計画に関する件
1. 日独共同研究奨学金募金経過報告に関する件
1. その他

コロキウムでは当日の一般参加の方を含め、多数の参加があり、様々な分野や視点から質問が出された。その後、懇親会を開催。新しい出会い及び会員交流の場となった。

《2018年度日本フンボルト協会関西支部会計報告》

(2018年4月1日～2019年3月31日)

単位:円

収 入		支 出	
前期繰越金	32,969	総会費	49,909
2018年度日本フンボルト協会運営助成金(6月12日)	200,000	懇親会費(レストラン支払額)	135,000
懇親会会費(2月24日) (5,400円×19名)	97,200	通信費	11,874
受取利息	5	印刷費	900
		事務費	50,000
		交通費	0
		次年度繰越金	82,491
合 計	330,174	合 計	330,174

※82,491円を2019年度に繰越

日本フンボルト協会関西支部支部長

西川伸一



日本フンボルト協会理事長 櫻田嘉章様

中国四国支部 2018 年度活動報告

○ドイツ留学説明会への協力

2018 年 5 月広島大学で開催された留学フェアにおいて、ドイツ留学情報を提供した。

○日独国際学会への協力

2018 年 9 月 7,8,9 日広島市内で開催された国際フレーベル学会の広報、運営について、日独コミュニケーション能力を有する支援スタッフを派遣して協力した。フレーベルは世界初の幼稚園 (Kindergarten) をドイツで創始した教育者。

○中国四国新旧支部長の引継会

2018 年 11 月 10 日岡山市内ホテルで大森晋爾前支部長と坂越正樹新支部長の間で引継会を行い、これまでの活動経過、今後の取組み等について情報交換をした。

2019 年 5 月 1 日

常務理事・支部長 坂越正樹 (広島文化学園大学副学長)



日本フンボルト協会理事長 櫻田嘉章様

日本フンボルト協会 中国四国支部 2018 年度収支報告

<収入>

支部活動助成金 100,000

<支出>

旅費

2018 年度総会出席(京都) 21,740

2018 年度常務理事会出席(京都) 21,740

中国四国地区支部長引継会(岡山) 10,540

会議費

岡山市内ホテル 8,090

(小計 62,110)

次年度繰越金 37,890

合計 100,000


2019 年 5 月 1 日

中国四国地区支部長 坂越 正樹



平成 31 年 3 月 31 日

日本フンボルト協会
理事長 櫻田 嘉章 殿

日本フンボルト協会
九州支部
支部長 河野俊行 

2018 年度九州支部活動助成金精算書

2018 年度九州支部活動支援のために交付された助成金について、当年度
事業が終了したので下記のようにご報告いたします。

記

支援助成金交付額	100,000円
2018/3/30 年次総会・講演・バリトンリサイタル	
奏者謝金 (50,000 円×2 名)	100,000円
支援助成金精算額 (残額)	0円

以上

2018 年度九州支部活動報告

2018 年度九州フンボルト会総会、講演・バリトンリサイタル、懇親会を以下の通り開催した。

日時：2019 年 3 月 30 日（土）15:00～20:00

総会：西南学院大学コミュニティーホール（15:00～15:30）

- ・出席者 11 名
- ・2018 年度会計報告および今後の活動計画について

講演・バリトンリサイタル：同総会会場にて（16:00～17:15）

- ・河野克典氏（バリトン）、大迫貴氏（ピアノ）

曲目：ドイツ語曲 6 曲

Erlkönig、Romanze、Der Blumenbrief、Wanderes、Nachtlied、Die beiden Grenadiere、Abschied

日本語曲 6 曲

荒城の月、鐘が鳴ります、からたちの花、赤とんぼ、鴉、つくだ煮の小魚
アンコール曲 ふるさと

懇親会：蕎麦処 草八（18:00～20:00）

- ・出席者 11 名

今年度は、総会の後、九州フンボルト会主催で、元 DAAD 奨学生をお招きして講演・バリトンリサイタルを企画し、一般の方にも公開（チケット 2,000 円）した。桜が見ごろを迎える中、200 席の会場に、沖縄・熊本と九州各地より約 100 名の入場者があり、河野氏のバリトン美声の響きと大迫氏のピアノの素晴らしさに魅了され、大変好評裡に終わった。

また、今回、新規入会者が 3 名あり、懇親会では会員相互の親睦を深めることができ、大変有意義な総会となった。今後、さらに参加者が増えるよう、開催時期や会費の見直しも検討しつつ、次年度も講演会等活発に行っていきたい。



会場内の様子



演奏者を囲んで